

【「なにわフードバンクしっかり食べや」について】

大阪にある協同組合が連携し、新たなフードバンクとして立ち上がりました。

先日、なにわフードバンクに視察に行き大阪府内での活動の様子を聞きくことができました。

事業内容は、食料の収集・配布を通じて行う子ども、若者、ひとり親家庭への支援事業及び、その他の生活困窮者への支援事業です。

現在、104 の子ども食堂、子どもの居場所支援団体、学習支援団体への食料の配布を行っています。主に大阪市内ですが順次大阪府下全体へと支援を広げています。またひとり親家庭支援は 6 団体への食料の配布を定期的に行っています。その他、生活困窮者等支援団体へは不定期ではありますが 9 団体に提供をしているそうです。

大阪は相対的貧困率が全国第 7 位で、大都市の中では断トツという現状です。普通に生活をするのことができない家庭がたくさんあるのです。朝昼晩の食事をする、お風呂に入る、温かい布団で寝る、そんな当たり前の毎日を送ることができない子どもがたくさんいる現状を聞きました。私たちも同じ協同組合として組合員の力を合わせて何かできることはないかと考えています。生活クラブのおふくわけという寄付のしくみを利用して、大阪の子どもたちがお腹を空かせることないよう、できることをしていきます。

詳しく見たい方は [検索:なにわフードバンク](#) で検索してみてください。仕分けボランティアも募集しています。



生協のキャンセル品、企業からの提供品食品ごとに仕分けします。



仕分けられた食品をまんべんなく各子ども食堂や団体に仕分けします。



生活クラブ生協大阪の組合員からのノンカップ麺ひとり親支援団体などへ

子育て講座開催報告 11/13 日 エルおおさか 参加者 25 名

講師: NPO 法人 絵本で子育てセンター 絵本講師 金澤栄子さん

家族連れやお父さんと子どもや、孫育て中のご夫婦が参加したり様々な子育てに関わる組合員が参加しました。

前半 1 時間は大人だけでお話を聞きました。金澤さん優しい絵本の読み聞かせに心地よさを感じ温かい気持ちになりました。

しかし、日本の子どもの幸福度の低さ、自己肯定度の低さの現状を聞きました。

絵本は、人間や動物の親子の愛、誰かを思う気持ちを伝えてくれる。小さい子どもから絵本を見て、読む人の優しい声を聞いて、いろんなことを吸収して、愛情を感じる素晴らしいもの。その絵本を通して、親や子どもと関わる人が、子どもへ「あなたはとっても大切だよ、愛されているよ、大好きだよ」と伝えて、読んでもらった子どもに幸せを感じて自分に自信をもって生きていってもらいたいと感じました。

後半は子どもと大人でふれあい遊びや、金澤さんの読み聞かせでした。子どもたちは金澤さんに夢中でした。今後もエッコロ委員で子育て中の組合員、子どもに関わる組合員に絵本のすばらしさを伝えていこうと思いました。

